



平成27年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月12日

上場会社名 オーエス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9637 URL <http://www.osgroup.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 芳樹
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森口 武士 (TEL) 06-6361-3554
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月12日 配当支払開始予定日 平成26年10月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第2四半期の連結業績 (平成26年2月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第2四半期	3,766	9.5	229	0.8	152	3.8	89	23.2
26年1月期第2四半期	3,439	2.7	227	△14.1	147	△17.0	72	△10.7
(注) 包括利益 27年1月期第2四半期	96百万円 (△3.1%)		26年1月期第2四半期		99百万円 (6.5%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第2四半期	5.63	—
26年1月期第2四半期	4.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年1月期第2四半期	31,212	8,455	27.1
26年1月期	30,822	8,401	27.3

(参考) 自己資本 27年1月期第2四半期 8,455百万円 26年1月期 8,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年1月期	—	2.50	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想 (平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,290	15.8	600	△3.2	430	△4.6	250	—	15.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年1月期2Q	16,000,000株	26年1月期	16,000,000株
② 期末自己株式数	27年1月期2Q	155,182株	26年1月期	150,717株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年1月期2Q	15,847,629株	26年1月期2Q	15,852,316株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年2月1日～平成26年7月31日）におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられたものの、政府の経済政策を背景に、概ね回復基調で推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループは、安定した経営・財務基盤を実現するべく、本年3月、首都圏に事業用賃貸マンションを新たに取得するなど、最適な事業ポートフォリオの構築に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の成績は、映画事業が好調に推移したことにより、売上高3,766,413千円と前年同期に比べ326,789千円（9.5%）の増収となり、営業利益は229,555千円と前年同期に比べ1,881千円の増益、経常利益は152,808千円と前年同期に比べ5,553千円の増益、四半期純利益は89,231千円と前年同期に比べ16,795千円の増益となりました。

経営成績をセグメント別でみると次のとおりであります。

(映画事業)

映画事業におきましては、邦画作品では「名探偵コナン 異次元の狙撃手（スナイパー）」「テルマエ・ロマエⅡ」「思い出のマーニー」、洋画作品では「アナと雪の女王」「アメイジング・スパイダーマン2」「マレフィセント」などの話題作を上映いたしました。特に、「アナと雪の女王」は記録的大ヒットとなり、当社においても収益に大きく貢献いたしました。

映画以外のデジタルコンテンツといたしましては、国内トップアーティスト「稲葉浩志」のライブの生中継を実施するなど、他館との差別化を図り、より魅力ある施設づくりを目指してまいりました。また、本年7月に当社が運営するオンラインチケット購入サイトをリニューアルし、座席のピンポイント選択を可能にするなど、利便性の向上に努めてまいりました。

また、社会貢献活動といたしまして、「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」に参画し、特別上映会の実施を通じて「心豊かな地域文化の確立」に取り組んでまいりました。

売上高は1,552,995千円と前年同期に比べ318,070千円（25.8%）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は102,990千円と前年同期に比べ60,804千円の増益となりました。

(不動産賃貸・販売事業)

不動産賃貸業界におけるオフィスビル市況は、企業業績の回復を受け、本年7月末の空室率が大阪ビジネス地区で8.7%、東京都心5区で6.2%と需要の回復傾向がわずかにみられました。

不動産賃貸事業におきましては、新規テナントの獲得に努めた結果、当第2四半期連結累計期間末における保有ビルの稼働率は98.0%となったものの、賃料水準につきましては厳しい状況で推移いたしました。

なお、本年3月に取得した事業用賃貸マンション「メルヴェーユ馬込」は、順調に稼働しております。

不動産販売事業におきましては、共同事業者と推進しております分譲マンション「プレージアブラン東園田」の売上を計上しております。

また、本年11月竣工予定の分譲マンション「プレージア守口松町 ザ・レジデンス」は、2月より販売を開始し、早期完売に向け鋭意取り組んでおります。

売上高は1,405,253千円と前年同期に比べ17,085千円（1.2%）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は昨年12月に賃貸ビルを譲渡した影響もあり、367,520千円と前年同期に比べ87,691千円の減益となりました。

(ホテル事業)

大阪のホテル業界は、訪日旅行者が増加傾向にあり、堅調に推移しております。

「梅田OSホテル」におきましては、一部客室の改装を行い、快適な空間の提供に取り組んでまいりました。また、インターネット宿泊サイトにおいてお客様のニーズに合わせたプランを提供するとともに、需要動向を見据えた販売管理を徹底し、収益力の強化に取り組んでまいりました。

売上高は346,496千円と前年同期に比べ19,362千円（5.9%）の増収となり、諸経費の削減に努めた結果、セグメント利益（営業利益）は80,830千円と前年同期に比べ33,756千円の増益となりました。

(飲食事業)

飲食業界は、エネルギーコストや食材原価の上昇、人手不足の深刻化など、厳しい経営環境が継続しております。

飲食事業におきましては、接客力の向上と安全・安心な商品の提供に努め、顧客満足度の向上を図ってまいりました。

売上高は200,688千円と前年同期並みとなりましたが、消費増税に伴う諸経費の増加により、セグメント利益(営業利益)は9,582千円と前年同期に比べ2,878千円の減益となりました。

(その他事業)

アミューズメント業界は、スマートフォンの普及によるゲームの多様化の影響を受け、厳しい状況が継続しております。

このような状況のなか、「n a m c o三宮店」は堅調に推移いたしました。

売上高は260,978千円と前年同期に比べ4,463千円(1.7%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は39,747千円と前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は390,235千円の増加となりました。これは主に現金及び預金1,386,208千円の減少がありましたが、有形固定資産1,111,303千円及び販売用不動産596,841千円の増加によるものであります。

負債につきましては335,762千円の増加となりました。これは主に短期借入金2,305,355千円及び未払法人税等143,154千円の減少がありましたが、長期借入金2,895,512千円の増加によるものであります。

純資産につきましては54,473千円の増加となりました。これは主に利益剰余金49,608千円の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は987,651千円となり、前連結会計年度末に比べ1,386,208千円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は456,993千円(前年同期の資金の減少は279,435千円)となりました。主な増加要因は、減価償却費334,157千円及び税金等調整前四半期純利益144,257千円、主な減少要因は、たな卸資産の増加額598,382千円及び法人税等の支払額212,934千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は1,477,297千円(前年同期の資金の減少は728,842千円)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1,441,215千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は548,082千円(前年同期の資金の増加は522,198千円)となりました。主な増加要因は、短期・長期借入れによる収入4,350,600千円、主な減少要因は、短期・長期借入金の返済による支出3,760,443千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、現在までの業績を踏まえ、平成26年3月17日開示の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成26年8月29日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、平成27年1月期の通期連結業績予想につきましては、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,373,859	987,651
売掛金	278,982	298,973
販売用不動産	2,217,524	2,814,365
商品	10,817	12,476
貯蔵品	4,115	3,997
前払費用	87,048	135,424
繰延税金資産	48,792	37,589
その他	41,008	12,840
貸倒引当金	△7,374	△7,593
流動資産合計	5,054,774	4,295,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,372,512	22,058,447
減価償却累計額	△11,524,433	△11,785,725
建物及び構築物(純額)	9,848,079	10,272,722
機械装置及び運搬具	311,813	311,813
減価償却累計額	△135,812	△148,683
機械装置及び運搬具(純額)	176,001	163,130
工具、器具及び備品	909,661	940,501
減価償却累計額	△660,799	△682,896
工具、器具及び備品(純額)	248,862	257,604
土地	13,692,798	14,383,586
有形固定資産合計	23,965,741	25,077,044
無形固定資産		
ソフトウェア	82,134	85,356
その他	9,935	9,652
無形固定資産合計	92,069	95,009
投資その他の資産		
投資有価証券	427,604	459,800
長期前払費用	206,155	210,485
差入保証金	611,992	610,009
建設協力金	423,336	426,971
繰延税金資産	10,504	10,385
その他	17,471	17,952
投資その他の資産合計	1,697,065	1,735,606
固定資産合計	25,754,876	26,907,660
繰延資産		
社債発行費	12,424	8,924
繰延資産合計	12,424	8,924
資産合計	30,822,074	31,212,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	179,821	228,541
短期借入金	6,071,831	3,766,476
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払金	54,337	38,504
未払費用	321,722	290,661
未払法人税等	219,518	76,364
未払消費税等	10,592	68,067
賞与引当金	37,752	36,393
その他	549,663	396,371
流動負債合計	7,945,240	5,401,380
固定負債		
社債	1,200,000	1,200,000
長期借入金	7,393,893	10,289,405
長期預り保証金	2,123,047	2,121,882
繰延税金負債	1,556,520	1,532,823
再評価に係る繰延税金負債	1,947,585	1,947,585
退職給付引当金	254,732	263,704
固定負債合計	14,475,779	17,355,401
負債合計	22,421,019	22,756,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,506	66,506
利益剰余金	5,008,508	5,058,116
自己株式	△93,697	△96,010
株主資本合計	5,781,317	5,828,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101,511	108,689
土地再評価差額金	2,518,226	2,518,226
その他の包括利益累計額合計	2,619,737	2,626,915
純資産合計	8,401,054	8,455,527
負債純資産合計	30,822,074	31,212,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)
売上高	3,439,623	3,766,413
売上原価	2,787,872	3,106,922
売上総利益	651,750	659,490
一般管理費	424,077	429,935
営業利益	227,673	229,555
営業外収益		
受取利息	4,541	4,642
受取配当金	3,561	3,751
協賛金収入	3,047	3,047
その他	4,215	7,612
営業外収益合計	15,367	19,053
営業外費用		
支払利息	86,146	83,329
その他	9,640	12,470
営業外費用合計	95,786	95,800
経常利益	147,254	152,808
特別損失		
固定資産除却損	11,825	8,550
OSシネマズ神戸ハーバーランド開業費用	17,586	-
特別損失合計	29,411	8,550
税金等調整前四半期純利益	117,842	144,257
法人税、住民税及び事業税	38,441	71,369
法人税等調整額	6,965	△16,343
法人税等合計	45,406	55,026
少数株主損益調整前四半期純利益	72,436	89,231
四半期純利益	72,436	89,231

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	72,436	89,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,055	7,178
その他の包括利益合計	27,055	7,178
四半期包括利益	99,491	96,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,491	96,409
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	117,842	144,257
減価償却費	353,413	334,157
貸倒引当金の増減額(△は減少)	32	218
退職給付引当金の増減額(△は減少)	31,553	8,971
受取利息及び受取配当金	△8,103	△8,393
支払利息	86,146	83,329
有形固定資産除却損	11,825	8,693
売上債権の増減額(△は増加)	△13,380	△19,990
たな卸資産の増減額(△は増加)	△408,842	△598,382
差入保証金の増減額(△は増加)	△100,299	1,983
長期前払費用の増減額(△は増加)	6,897	△11,565
仕入債務の増減額(△は減少)	51,466	48,720
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△57,819	△47,477
未払消費税等の増減額(△は減少)	△27,824	57,475
預り保証金の増減額(△は減少)	△35,949	△1,164
その他	62,242	△166,181
小計	69,201	△165,348
利息及び配当金の受取額	4,099	4,332
利息の支払額	△86,176	△83,042
法人税等の支払額	△266,559	△212,934
営業活動によるキャッシュ・フロー	△279,435	△456,993
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△656,657	△1,441,215
無形固定資産の取得による支出	△1,935	△17,209
投資有価証券の取得による支出	△76,966	△21,136
その他	6,717	2,263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△728,842	△1,477,297
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	140,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△120,000	△133,320
長期借入れによる収入	2,400,000	4,150,600
長期借入金の返済による支出	△1,856,584	△3,627,123
自己株式の取得による支出	△1,234	△2,312
配当金の支払額	△39,983	△39,761
財務活動によるキャッシュ・フロー	522,198	548,082
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△486,079	△1,386,208
現金及び現金同等物の期首残高	1,201,259	2,373,859
現金及び現金同等物の四半期末残高	715,180	987,651

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	映画事業	不動産賃貸 ・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	1,234,925	1,422,338	327,134	198,710	256,514	3,439,623	—	3,439,623
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	78,356	—	—	—	78,356	△78,356	—
計	1,234,925	1,500,695	327,134	198,710	256,514	3,517,980	△78,356	3,439,623
セグメント利益	42,186	455,212	47,073	12,461	39,110	596,044	△368,370	227,673

(注) 1. セグメント利益の調整額△368,370千円には、セグメント間取引消去△2,055千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△366,314千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	映画事業	不動産賃貸 ・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	1,552,995	1,405,253	346,496	200,688	260,978	3,766,413	—	3,766,413
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	70,407	—	—	—	70,407	△70,407	—
計	1,552,995	1,475,661	346,496	200,688	260,978	3,836,820	△70,407	3,766,413
セグメント利益	102,990	367,520	80,830	9,582	39,747	600,672	△371,117	229,555

(注) 1. セグメント利益の調整額△371,117千円には、セグメント間取引消去△898千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△370,219千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。